

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 24年 1月

応募者名:山梨県 県土整備部 都市計画課

事業の名称:富士北麓都市計画道路 中央通り線整備事業

実施都市名:山梨県 富士吉田市

事業目的

中央通り線は、富士吉田中心市街地内を環状に取り囲む主要幹線街路であり、同じく市街地外縁の主要幹線道路である国道139号富士見バイパスをはじめとした各幹線道路を連絡する、総延長3.5km、4車線の都市計画道路です。

本街路を整備することにより、同市中心部を囲む環状道路の一部としての有機的な機能発揮による周辺道路の渋滞緩和、広幅員歩道整備による歩行者等の安全確保、無電柱化推進による富士山景観形成および火山防災対策の強化等を図るとともに、中心市街地の骨格をなす基幹道路として、市街地活性化に大きく寄与することが期待されます。

また、河口湖方面から、整備中の国道137号吉田河口湖バイパス、本路線および県道山中湖忍野富士吉田線を経由して山中湖・忍野地域を結ぶ広域的な幹線道路ネットワークの一部を形成します。これにより、渋滞時や災害時における国道138号・国道139号のバイパスとしての役割を担い、富士北麓地域の交通ネットワークの強化が図られます。

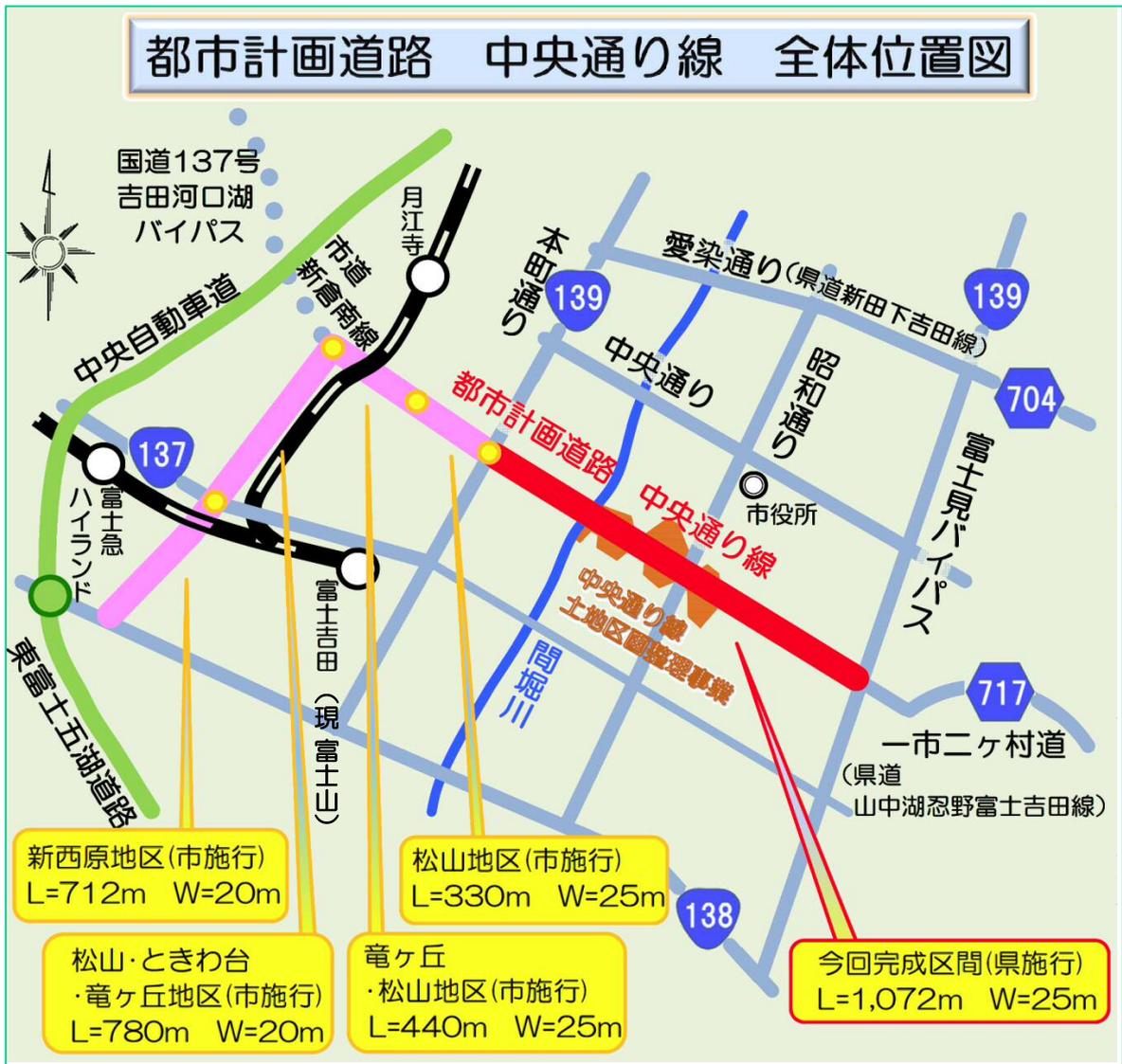
事業概要

事業名称:富士北麓都市計画道路 中央通り線整備事業
路線名:富士北麓都市計画道路 中央通り線
事業箇所:山梨県 富士吉田市 下吉田地内～中曽根地内
事業延長:1,072m
幅員:25.0m(4車線)
事業費:約73億円
事業実施期間:平成10年度～平成22年度

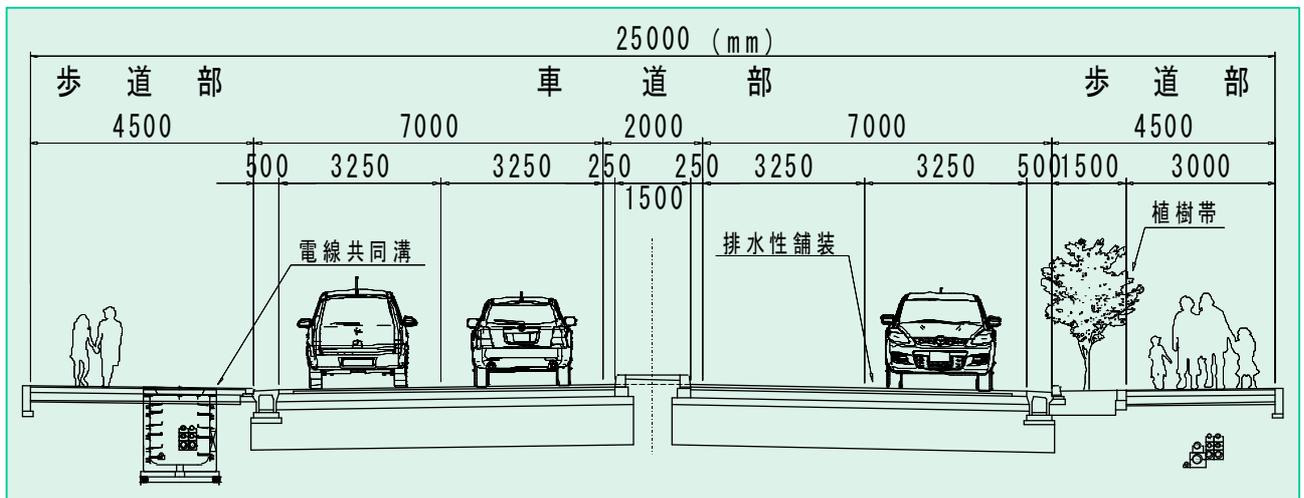
中央通り線は昭和43年に富士吉田市が着手したのを皮切りに、平成10年より県道重複区間となる本工区L=1,072m区間の整備に事業着手しました。

途中、平成17年からは市施行の土地区画整理事業との連携による整備も進める中で、平成22年11月の本工区の供用により、全線供用となったものであります。

事業位置図



標準横断面図



(都)中央通り線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名：富士北麓都市計画道路
中央通り線整備事業

路線名：富士北麓都市計画道路
中央通り線

事業箇所：山梨県 富士吉田市
下吉田地内～中曽根地内

延長：1,072m 道路改良および無電柱化

幅員：25.0m (4車線)

総事業費：約73億円

事業期間：平成10年度～平成22年度

○交通量調査結果

供用後÷供用前 比率

中央通り線：154%~201%【増加】

並行市道：70%~97%【減少】

→大幅な交通の転換が図られた！

- ・中心市街地からの通過交通の分散化
- ・これにともなう交通円滑化
- ・市街地へのアクセス性向上
- ・市街地活性化 が期待される。

○事業効果

本工程の整備により、富士吉田市中心市街地を取り囲む4車線街路ネットワークが形成されることとなり、市街地中心部を通過する路線からの通過交通の分散化およびこれに伴う交通円滑化が図られました。これにより、市街地中心部へのアクセス性向上および市街地の活性化が期待されます。

また、広幅員歩道の整備により、安全安心な歩行者自転車交通環境の確保が図られ、周辺にある小中高等学校等への通勤通学時の安全性向上がなされました。

さらに無電柱化の推進により、世界遺産登録を目指す富士山周辺の景観向上や、富士山火山防災に対する緊急避難路の形成等、地域特有の課題に対応する街路整備を行なうことができました。

○その他のアピールポイント

本工程の一部は公図混乱状態であり用地買収に支障を来たしたため、地元富士吉田市と協力し、土地区画整理事業の換地手法を活用しました。これにより公図を整理、事業用地の確保を行なうことができました。施行区域については平成12年に創設された個人施行を前提とした敷地整序型土地区画整理事業の考えを導入しつつ、これを沿道区画整理型の公共団体施行に適用を広げていく形をとりました。

また、本工程沿線では『お茶屋町花街道管理協力会』という地元有志団体がボランティアにより植樹帯に季節の花々を植えて管理しており、無電柱化や植栽による景観性向上に加えて、この花々による景観形成、さらには街路に対する地元住民の愛着心の向上に寄与しています。

事業前写真

事業実施前の状況

一部片側歩道の2車線道路

- 交通容量が小さい
- 自転車や歩行者の通行には危険な状況



平成19年7月撮影



平成19年7月撮影

事業実施前

の並行市道の状況
(金鳥居交差点)

- 交通集中により
渋滞が発生
- 青信号でも交差点
通過できない状況



平成16年12月撮影

事業後写真

- 広幅員歩道の整備
→ 自転車や歩行者の安全性確保

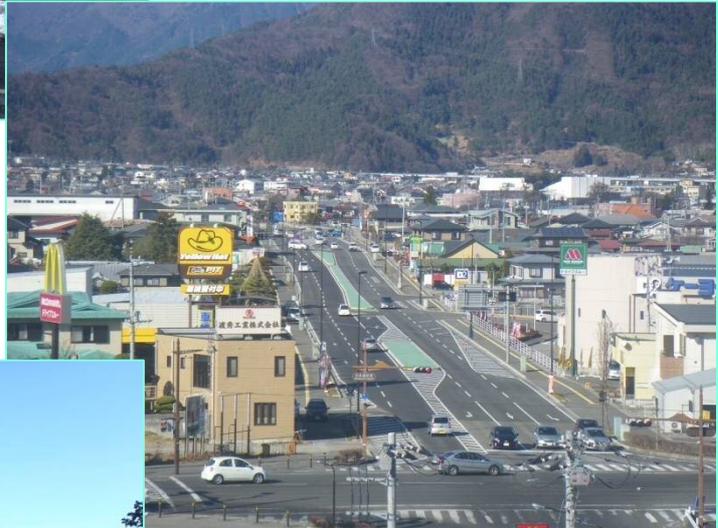


平成24年 1月撮影



平成24年 1月撮影

- 無電柱化（電線共同溝）
→ 沿道景観の向上
（道路から富士山の眺望）



平成23年 12月撮影

整備区間遠景



平成23年 12月撮影

整備区間近景

- 地元ボランティア団体
による花植え状況



平成23年 6月撮影